

令和4年度第2学期始業式式辞（放送）

おはようございます。穎明館生の皆さん、第2学期のスタートです。暑い毎日が続きましたが、元気に過ごしましたか。「平和」について考えてみましたか。「勉強」を続けていますか。「カルチベート」されていますか。2学期は文化祭や体育祭など、学校行事も控えています。健康管理に留意しつつ、常に文武両道、両立を意識して実行しましょう。

6年生・36期生の皆さん、受験勉強の調子はどうですか。今後に向けてアドバイスを一つ。「ケアレスミスは重大なミス。生活態度が表れている」。受験後の得点開示で1点差、2点差で涙をのんだ卒業生を思い出します。皆さんにはそんな思いをしてほしくない。これから実りの秋の時期。過去問演習などで実戦力を磨いていく中で、常に本番を想定してケアレスミスを甘く見ないようにしてください。「継続は力なり」。応援しています。

さて、今日は穎明館の教育目標でもある「リーダー」について少々お話しします。今までも折に触れ、私の考えるリーダーとは、「尽くす人、貢献する人」であること。「一隅を照らす」がごとく世の中を照らし、人々を惹きつけるような生き方をしていってほしいということ伝えてきました。たとえば今、文化祭の準備などで、今まで経験したことのないようなリーダーシップを発揮する場面に立たされている人もいることでしょう。ぜひ成功させて自信を深めてください。ただ安心して失敗できるところが穎明館です。チャレンジしての失敗は次につながります。失敗を恐れず一歩を踏み出してもらうためにも、最近、文庫化された梨木香歩さんの著書、『本当のリーダーのみつけかた』より一部を読み上げます。

そう。あなたの、ほんとうのリーダーは、そのひとなんです。

それはさっき私が言った、「自分の中の目」でもあります。同じひとです。そのひとにぴったりついていけばいい。

自分のなかの、埋もれているリーダーを掘り起こす、という作業。それは、あなたと、あなた自身のリーダーを一つの群れにしてしまう作業です。チーム・自分。こんな最強の群れはない。これ以上にあなたを安定させるリーダーはいない。これは、個人、ということです。

そして、群れというのは本来、そういう個人が一人ひとりの考えで集まってできるものであるべきだと思っています。個人的な群れ、社会的な群れ、様々な群れがありますが、それに所属する前に、個人として存在すること。盲目的に相手に自分を明け渡さず、考えることができる個人。

じゃあ、どうやったら個人でいつづけられるか。自分のなかに自分のリーダーを掘り

起こすって、どうやって？

「リーダーになるためには？」とか、「リーダーに必要な資質は？」といった本が多い中で、「自分の内なるリーダーを目覚めさせる」という視点が、この本の印象深いところです。自分自身と向き合い、掘り起こすために何が必要か。自分の心の主人公は自分です。自分の心は自分で動かすもので、他人に動かしてもらうものではありません。まずは一步踏み出すこと。心からこの人を大切にしようとか、愛し続けようとかと決心し、実行することの大切さに改めて気付かされます。そして迷ったときには、同調圧力に屈することなく、「自分自身で決めなさい。毅然として、穏やかであれ」と、自分に言い聞かせればいい。

勇気が湧いてくる一冊、『本当のリーダーのみつけかた』を手にとってみませんか。

ところで、2学期はキャリア教育、進路選択の面でも重要な時期です。ここでも自分自身と向き合う必要性がでてきます。私はこの夏に機会を得て、大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学 (APU) の見学、研修に参加してきました。学長の出口治明先生は有名ですね。APUには学生約5600人が在籍していて、そのうち留学生（国際学生）が約45%。出身地は94か国・地域にのぼるそうです。私もその多様性に圧倒されました。たとえばグループワークの授業では、担当教授が評価ポイントはただ一つ、「クリエイティブ」を挙げられました。研修中の刺激的な言葉を紹介します。——「言語の学習なくして文化の学習なし」、「日本の学生は高校生までの多読が足りない。英語と古典を読ませてほしい」、「世界でディスカッションする時の共通語は数学。すなわちロジックとデータ」、「英語も日本語も基本は読む力、書く力。話す力は後からでも鍛えられる」、「ようやく日本の企業も世界と渡り合うために尖った人材の必要性に気づいてきた」、「留学生はよく学ぶ。刺激を受けて日本の学生も学ぶようになった」——。学生との懇談では、日本にしながら海外留学をしているような環境での学びをあえて自ら選択したことや、自分の将来や世界への貢献などについて、いきいきと語るその様子にすっかり感心させられました。

穎明館生の皆さん、「あなたは何がやりたいのか。あなたはどのようにやって世の中に貢献するのか。」——皆さんはどう答えますか。溢れかえる情報や周囲の声に流されることなく、自分にとって確かなことを主体的に選び取ってほしいと思います。そして常に希望を語ることでできる人であってください。

「国際社会に羽ばたく真のリーダーの育成」が穎明館の教育目標です。第2学期の充実、勉強とともにさまざまな行事や経験を通じて、皆さんが成長していくことを期待しています。

以上、令和4年度穎明館中学高等学校第2学期始業式式辞と致します。